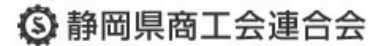


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和6年12月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和6年12月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和6年12月31日
- (2) 調査対象 県下35商工会（うち34商工会より回答）【回収率97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の10業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【年末需要の押上げにより全体の景況感は改善傾向が見られるものの、物価高騰や燃料価格引き上げ等小規模事業者が置かれる環境は依然厳しく、利益確保には至っていない】

産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）は-17.6（前月-18.4、前年同月-16.9）で、前月比0.8pt改善した。年末需要により旅館業や耐久消費財小売業等では景況の押上げがみられるものの、建設業等ではガソリン価格上昇に伴いさらなる負担増加が危惧される等、全体では利益確保には至っていない。

【製造業】

業況は-17.6（前月-19.6、前年同月-13.7）と前月に比べ2.0pt改善した。価格転嫁や受注増により景況改善の兆しがある一方で、廃業の増加傾向も見られ業界全体の余力には注視が必要である。

【建設業】

業況は-20.6（前月-20.6、前年同月-20.6）と前月比変動なしであった。人手不足に加えガソリン補助金終了による諸経費の上昇が進んでおり、今後の見通しには厳しい声も多い。

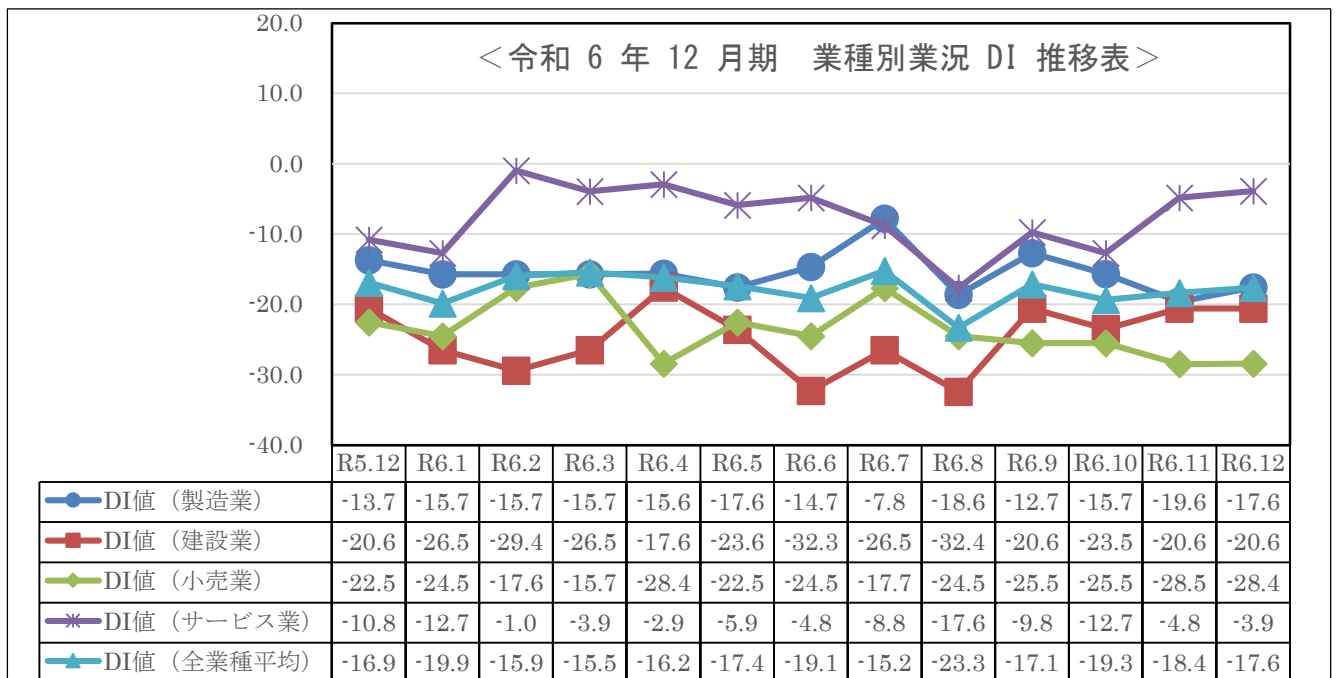
【小売業】

業況は-28.4（前月-28.5、前年同月-22.5）と前月に比べ0.1pt改善した。ボーナスや年末年始の繁忙期による需要押上げが見られたものの、食料品類の高騰もあり大きな改善には至らなかった。

【サービス業】

業況は-3.9（前月-4.8、前年同月-10.8）と前月に比べ0.9pt改善した。連休やイベント特需により観光関連業は引き続き好調であるものの、人手不足や感染症流行などのリスクも抱えており、事業運営に苦慮する事業者も多い。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 Tel.054-255-9811 [担当:名波・片平]



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・機械金属業では依然として中国経済の動向を注視する状態。また、ホンダと日産の経営統合にも気を使う状態である。（伊豆）
- ・同業他社の廃業により受注が回ってきた場合が多く、製造業全体で見て廃業と繁忙を平準化した景況を見定め難い。（富士駿東）
- ・BtoC 分野の製造業においては価格転嫁が進んでいる。（中部）
- ・緑茶製造では急に寒さが増したため、需要の伸びが期待されている。（中東遠）
- ・繊維工業では数カ月先以降の仕事が相変わらず見えない状況。急な依頼もあるが内容によっては対応できず断っている。（西遠）

【建設業】

- ・仕入単価は高止まりで落ち着いている。人手不足は解消されず、人材確保難から来期の見通しが立たないとの声もある。（伊豆）
- ・国の補助金が終了し段階的にガソリンが値上げ。トラックや重機の燃料代も上がり経営に影響が出ている。（富士駿東）
- ・労災リスクなどの観点から年齢が若い事業者は受注が増加傾向にあり、売上の増加に繋がっている。（中部）
- ・年末ということもあり受注が重なり、非常に忙しかった。（中東遠）
- ・総合建設業者の中には完全注文住宅の受注に加え均一価格の規格住宅の販売も開始し、顧客の予算に合わせた提案を可能とした先もある。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

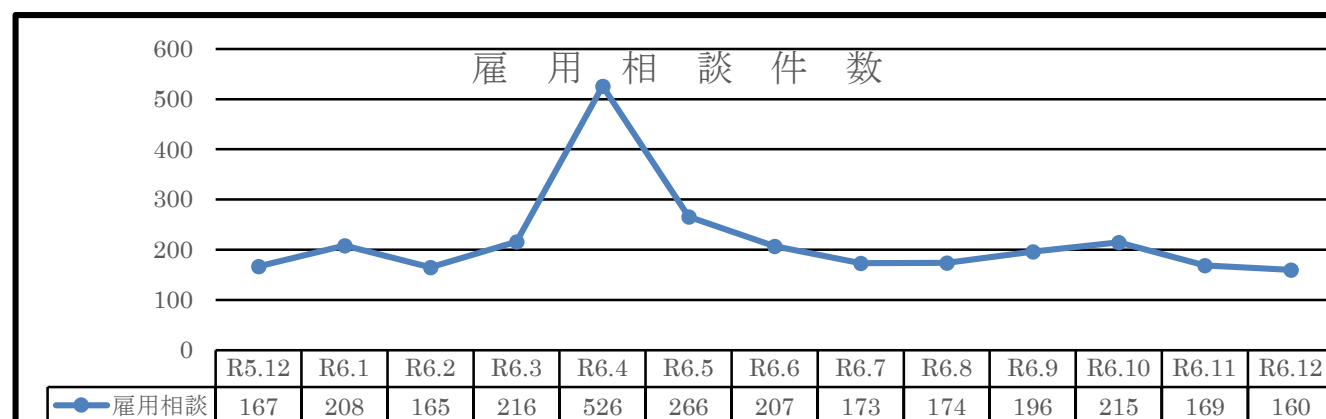
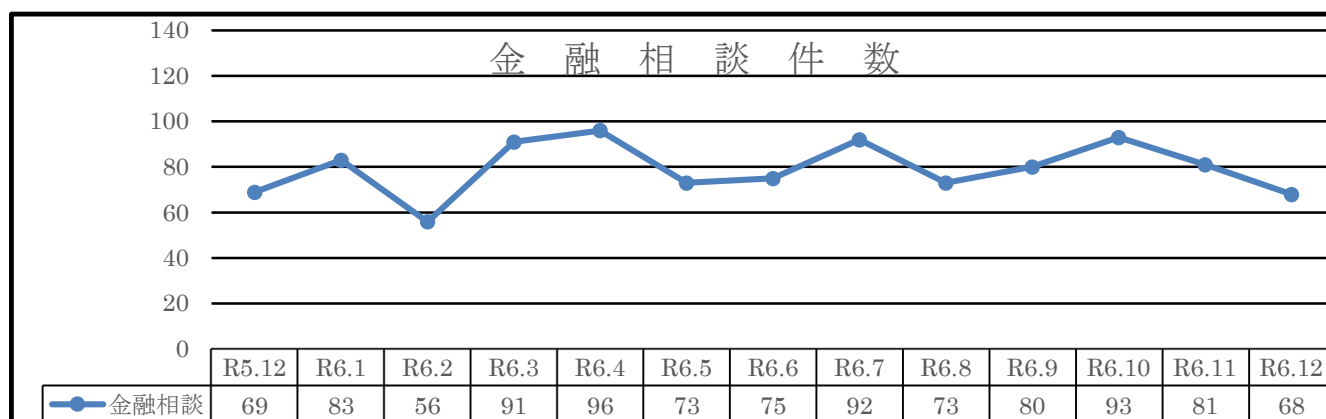
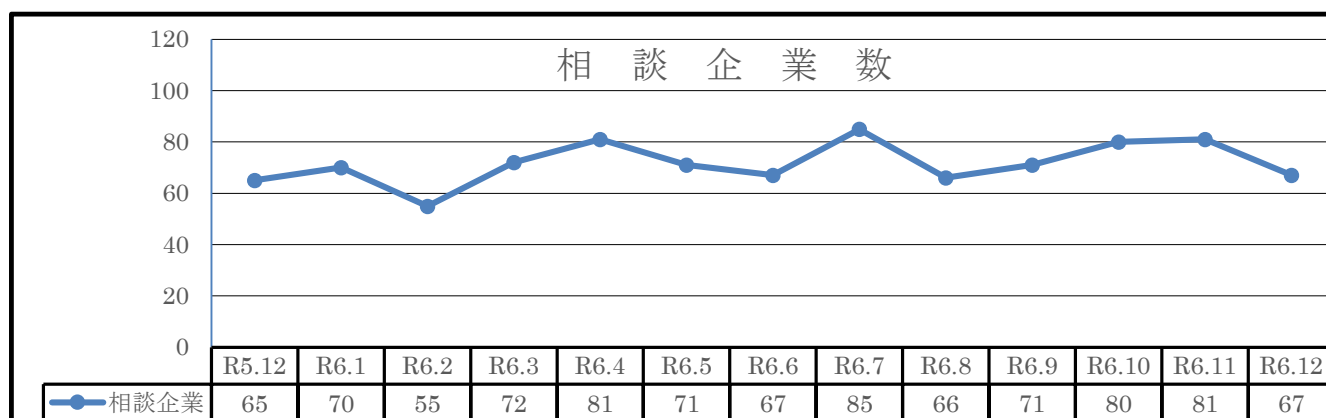
- ・葉物野菜の高騰が止まらず収益を圧迫している。特にキャベツは通常の 4 倍、白菜は 2 倍以上の価格となっている。（伊豆）
- ・年末需要で売上は増加したものの、価格転嫁は十分できず粗利は厳しい。（富士駿東）
- ・クリスマスやお正月の年末商戦による需要増加が売上を押し上げた。（中部）
- ・冬物衣料が好調も、昔に比べると売上が減少しており顧客流出を感じる。（中東遠）
- ・夏に続き冬もエアコン需要が堅調であり、冷蔵庫等白物家電も順調に売れている。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・観光客数はコロナ禍前の水準まで戻りつつあるが、需要に対応するための人材確保も深刻化してきている。（伊豆）
- ・1 万円程度の比較的安価な宿や一棟貸しの施設が好調も、インフルエンザの流行で直前のキャンセルも散見された。（富士駿東）
- ・理美容業では、コロナ禍を脱し堅調に推移する事業者も増えてきた。（中部）
- ・冬休みに入り、ライブ等大型イベントによって宿泊者が増加した。（中東遠）
- ・洗濯業では季節需要はあるものの、諸経費高騰で利益率は下がっている。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和6年12月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	67	81	-14
【金融相談件数】	68	81	-13
新規融資（借換えを除く）	47	49	-2
既存債務の借換え	17	26	-9
借入れ条件変更	0	0	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	4	6	-2
【雇用相談件数】	160	169	-9



【金融相談】

金融相談件数は 68 件と前月(81 件)に比べ 13 件減少した。コロナ関連融資制度の収束もあり大きな駆け込み需要は見られなかったものの、諸経費高騰で資金繰りが厳しい事業者は多く、運転資金を中心に金融支援を行った。

<経営指導員コメント>

- ・年末の資金需要は薄く、コロナ関連の融資相談や返済相談もほぼ無かった。(伊豆)
- ・年始の売上拡大に向けた運転資金需要があり、マル経融資等で対応した。(富士駿東)
- ・設備投資に係る相談に対応も、金利がコロナ禍期と比較して上昇しており事業者の検討する時間が増えた。(中部)
- ・債務超過に苦慮する事業者からの経営安定相談に対応した。(中東遠)
- ・仕入価格や諸経費の高騰により資金繰りが厳しい事業者が多く、建設業等では前回融資から短期での追加運転資金相談も増えている。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、160 件と前月(169 件)に比べ 9 件減少した。最低賃金の引き上げや人材確保、労務管理に苦慮する事業者が多い中、助成金や税制優遇等の公的施策活用を支援した。

<経営指導員コメント>

- ・就業トラブルへの対処やトラブルを回避するための相談が多くなっている。(伊豆)
- ・12 月より県内特定(産業別)最低賃金も引上げられたため、賃上げ促進税制、業務改善助成金等の支援制度について情報提供を行った。(富士駿東)
- ・従業員の精神疾患に係る労災相談や人事労務管理における相談等に対応した。(中部)
- ・女性雇用において先進的な浜松市内の会社へ会員事業者と訪問し、適切な労務管理方法等について学んだ。(中東遠)
- ・多くの事業者が慢性的な人手不足である。特に物の配達や人を送る運転手の不足をよく聞くようになった。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・12/8(日)に「河津寄って軽トラ市とテント市」を開催。新規出店のお店を求めた来場者が多かった事に加え、テント市との合同開催という事で新城市商工会(愛知県)、山形村商工会(長野県)なども出店した。地元児童のダンス披露も賑わいを見せ、約 2,000 人の来場客となった。(河津町)
- ・12/1(日)に「とい山海フェア」を開催し地域活性を図った。当日は農産物や海産物の販売に加え、福引抽選会等で賑わいを見せた。(伊豆市)
- ・12/21(土)に「ゆうすいしばふあそび 一夜のクリスマスイルミネーション」が開催され、夜の公園が光と音楽で彩られた。(清水町)
- ・1/11(土)まで、32 店舗が参加する「みなみのマルシャン スタンプラリー」を開催しており、お買物券抽選等で賑わいを創出している。(掛川みなみ)
- ・12/15(日)に「第二回あさば d e マルシェ」を開催した。気温も低く風が強い日で出店者は大変であったが、野菜各種やフード販売等で賑わいを見せた。(浅羽町)
- ・常葉大学浜松キャンパスと連携して「奥浜名湖グルメマップ デジタル版」を作成、地域振興に活かした。(奥浜名湖)
- ・12/1(日)～12/15(日)にかけて「2024 歳末謝恩セール」を開催した。商品券が当たるイベントには 58 事業所が参加頂いた。(新居町)